

倫 理

1 「生徒の主体的な判断」を生かした授業展開例

<主題> 生殖医療はどこまで許されるか。

<解説> 死者の精子を取り出して人工授精させ、代理母によって死者の子どもを得る。医療の世界では技術的に可能なこの事が果たして許されるのかどうかを生徒一人一人に考えさせる。幸福とは？家族とは？を考えさせたい。

2 楽しく哲学することをめざした授業展開例

<主題> ロボットは心を持てるか？

<解説> 情報技術の発達した現在、人間や動物に近い形態のロボットが出現している。「人間のように心を持ったロボットは存在するのか？」この問いを軸に携帯電話やゲームなどを材料にしながら人間の存在、思考や認識といった哲学的な思索をする。

3 「日常生活に対して問題意識を持てる」ことをめざした授業展開例 1

<主題> 家族って何？

<解説> 「家庭崩壊」「家族の再生」など現在の「家族」をテーマにした著作が多い。離婚率の上昇、ドメスティック・バイオレンス(DV)、児童虐待、親殺し…。家族をめぐる様々な問題の根本にある家族の人間的つながりについて考え、幸福な生活の指標とする。

4 「日常生活に対して問題意識を持てる」ことをめざした授業展開例 2

<主題> 環境保護のために自分は何をするか？

<解説> 小学校以来、環境に関する数多くの学習を行ってきた生徒に対し、その総括を行い「君はどうなの？」と生徒自身の環境保護に対する意識を問う。その上でこれから先、「環境保護活動とどう関わるのか？」「環境保護のために何を考えるべきか？」考察させる。